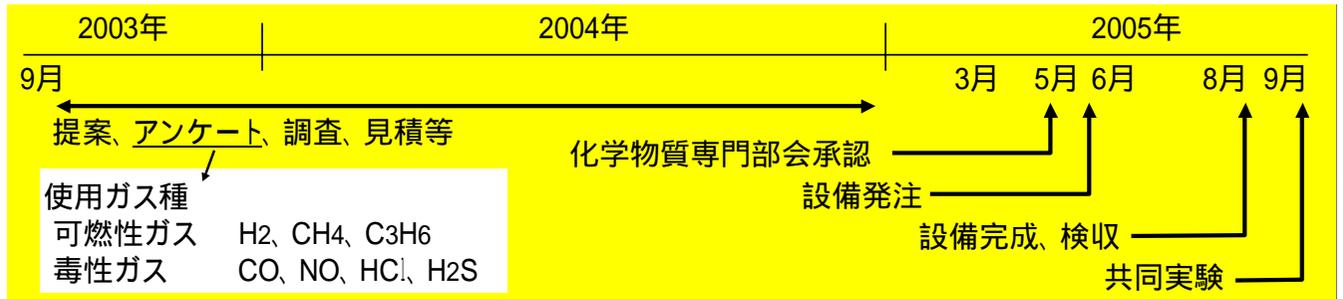


# ねらい

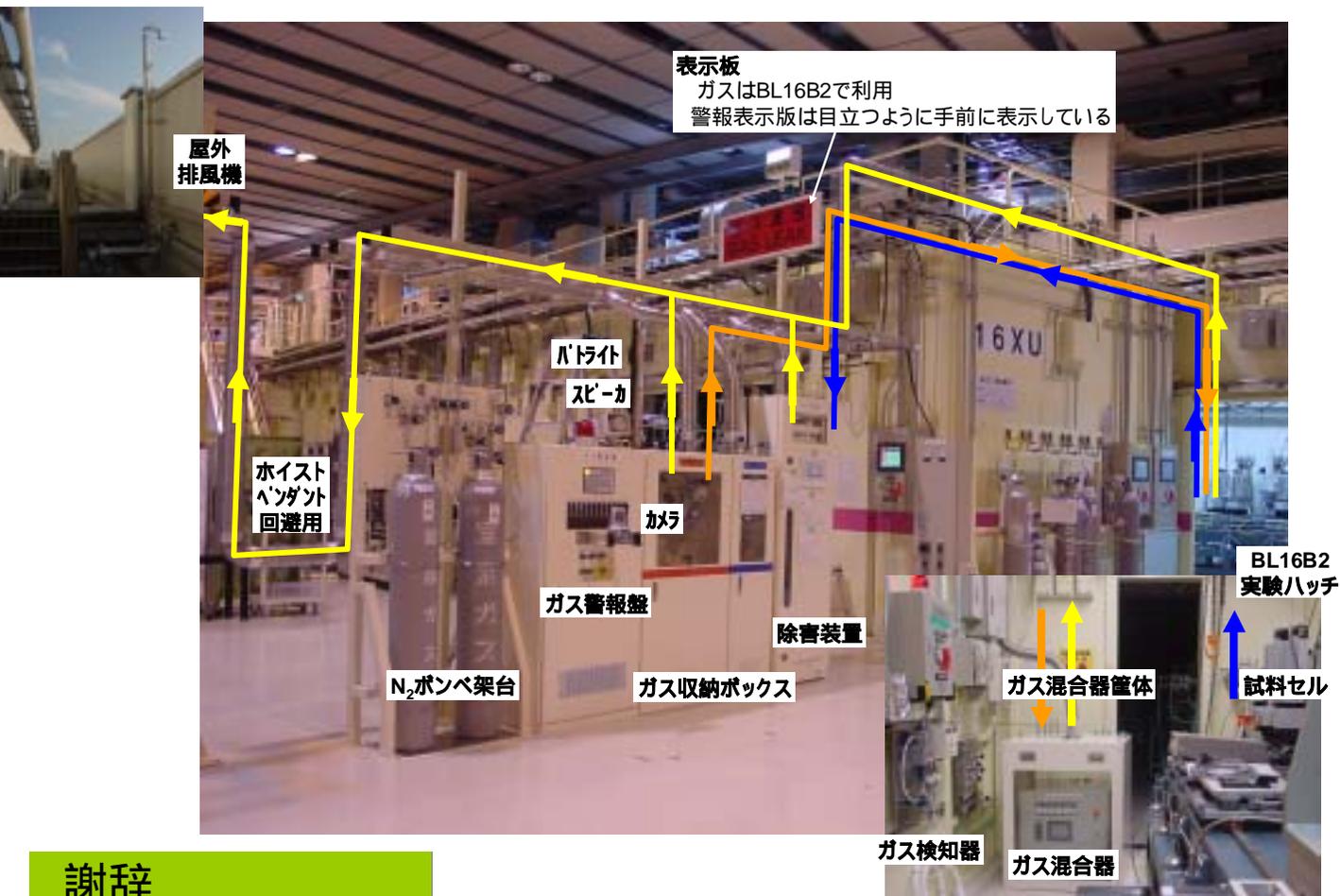
産業用専用ビームライン(BL16B2 & BL16XU)では、限られた場合を除き、室温、大気中の条件で測定が行われてきた。しかしながら、特に触媒材料や電池材料などの分野では、作動中の材料の構造は室温、大気中に取り出した構造とは大きく異なることが知られており、それを正しく評価するためには、それらが作動している条件、たとえば高温条件や反応ガス条件を実験ハッチ内で実現する必要がある。

このような“その場”測定を実現するため、産業用専用ビームライン建設利用共同体では、BL16B2 に各種のガスを安全に供給・排気できる設備を導入した。これにより、従来では不可能であった材料の真の姿を評価することが可能となり、新しい材料開発に大きく寄与できると考えている。

# 経緯



# 設備の概要



# 謝辞

JASRI(安全管理室、施設管理部など)、メーカー(大陽日酸)をはじめ、多くの方にお世話になった。厚くお礼を申し上げます。